

平成 23 年 5 月 10 日

各 位

会 社 名 東 洋 合 成 工 業 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 木 村 正 輝  
 ( J A S D A Q コード番号 4970 )  
 問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役 経 営 企 画 部 長 川 村 繁 夫  
 電 話 番 号 0 3 - 3 5 4 8 - 4 9 7 0 ( 代 表 )

「平成23年3月期通期連結業績予想値と実績値との差異」および「特別損失の発生」

に関するお知らせ

当社は、平成 23 年 2 月 8 日に公表した平成 23 年 3 月期通期連結業績予想値と本日公表いたしました同実績値に差異が生じたこと、および特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,500	850	650	530
実績値 (B)	14,759	976	789	421
増減額 (B-A)	259	126	139	△108
増減率 (%)	1.8	14.9	21.4	△20.5
(ご参考) 前期実績 (平成22年3月期)	12,399	△1,052	△1,234	△1,351

2. 差異の理由

平成 23 年 3 月期通期の業績は、世界経済の回復を背景に各事業とも売上は堅調に推移いたしました。また、売上の増加に伴い、工場の稼働率が期中の計画を上回って推移するとともに、全社的な経費削減や原価低減活動を始めたコスト削減対策への取組み、および為替が想定より円安で推移したこと等により、売上高・営業利益・経常利益とも前回発表予想値を上回ることとなりました。

なお、東日本大地震による損害額 (247 百万円) を特別損失へ計上した結果、当期純利益は前回発表予想値を下回ることとなりました。

3. 特別損失の計上について

(1) 東日本大地震に伴う特別損失の計上

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大地震により、千葉工場・市川工場・高浜油槽所の一部設備が損害を受けております。

各事業所の損害発生状況としては、千葉工場および市川工場は軽微な損害に留まったものの、高浜油槽所の護岸の一部において液状化に伴う損害が発生していることから、主に護岸の現状回復費用等の 247 百万円を特別損失へ計上いたしました。

なお、東日本大地震の発生以降、各事業所において早期再開に向けて復旧対策に取り組み、平成 23 年 3 月 23 日時点において、全事業所で生産および設備稼働を再開したことから、損益への影響額は最小限に留まったものと考えております。

(2) 固定資産の除却に伴う特別損失の計上

固定資産の除却に伴う特別損失として 173 百万円を計上いたしました。これは主に化成品事業に関わる生産設備の増設工事のうち、一部設備について仕様変更が生じたことから、建設仮勘定の除却を行ったものです。

(3) 関係会社株式評価損（個別）について

当社連結子会社トランスパレントの株式について減損処理を実施し、平成 23 年 3 月期の個別決算において関係会社株式評価損 118 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、連結決算上は消去されるため、連結業績への影響はありません。

以 上